

天使大学紀要執筆要領

1. 天使大学紀要への投稿に際しては、本要領に従って執筆する。
なお、投稿された原稿に本要領に従って記載されていない箇所がある場合は、「天使大学紀要」投稿規程第4条の(1)に基づき、筆頭著者に対し、学術振興委員会の委員長名で加除修正を求めることができる。
2. 本文は、約16,000字以内とする。提出原稿は、原則として和文または英文の横書きとして、図表、写真、注釈、引用・参考文献も含めて、A4判（1頁は全角 1行40文字×30行）を20枚以内（本文は約A4判13枚半）とする。
3. 原稿の標題紙には、順に(1)テーマ、(2)著者名、(3)所属、(4)原稿枚数・図・表・写真の数、(5)要旨（250語程度の英文及び400字程度の和文）、(6)キーワード（日本語で5語以内）を記載し、以下(7)本文、(8)注釈、(9)引用・参考文献とする。(1)～(6)は標題紙一枚にまとめ、和文にあっては、テーマ・著者・所属およびキーワードの英語語をつけ、英文では、テーマ、著者、所属およびキーワードの日本語をつける。
4. 漢字は当用漢字、送りがなは新かなづかいを用い、数字は算用数字とする。また、外国語にはなるべく訳語をつける。
記載にあたっての書式・凡例は以下のとおりとする。
 - 1) 文字のポイント数は章タイトルのみ12ポイント、その他は10.5ポイントでMS明朝体とする。表等の文字もMS明朝体で統一する。
 - 2) 数字はMS明朝体（Century不可）、1桁は全角、2桁以上は半角、ローマ字・欧文略語等は半角とする。年表示は西暦年で表示する。
 - 3) 章・項目番号（全角）については次の要領に従って記載する。
 - I. II. III. . . .（章）
 - 1. 2. 3. . . .
 - 1) 2) 3) . . .
 - (1) (2) (3) . . .
 - ① ② ③ . . .
 - 4) 図表は通し番号で、表1. 図1. とする。
 - 5) 主な表記は「及び→および、並びに→ならびに、おこなう→行う、当たり→あたり、取組み→取り組み、従って→したがって、更に→さらに、おもな→主な、充分→十分、又は→または、いえる→言える、且つ→かつ、但し→ただし、当学→本学」に統一する。
5. 図・表・写真は、それぞれ別紙としてまとめ、原稿の末尾に添付する。また、本文中には図・表・写真が挿入されるべき位置を明示する。番号と題については、表はその上部に、図と写真は下部に記し、説明文はいずれも下部に記す。
6. 文献および注釈、引用・参考文献は、以下のように記載する。
 - 1) 引用文献は、本文中の引用箇所の右肩に番号をつけ、本文の末尾に一括して、引用順に列記する。
 - 2) 参考文献は、引用文献の次に著者名のアルファベット順に一括して記載する。記載方法は、引用文献に準ずる。
 - 3) 文献の記載方法は次のとおりとする。
著者が2名までの場合はすべて記載する。3名以上の場合は筆頭者のみとし、末尾に「他（et al.）」と記載する。

(1) 雑誌の場合

著者名：論文題名, (副題), 雑誌名, 巻 (号), 頁 - 頁, 発行年.

【例】

- ・井上 郁：日本における老人看護専門看護師への期待, 老年看護学, 8(2), 18, 2004.
- ・長谷川真澄・亀井智子：急性期高齢患者のせん妄発生の予測に関する看護師のアセスメント構造, 聖路加看護学会誌, 10(1), 4, 2006.
- ・野口玉雄 他：ふぐの毒、とくにその起源と毒化機構について, 食品衛生学雑誌, (304), 283, 1989.
- ・Gleser, G. C. : Speed of Response as Measure of Difficulty, American Journal of Psychology, 64, 548-549, 1951.
- ・Kanfer, R. & Zeiss, A. M. : Depression, Interpersonal Standard Setting, and Judgements of Self Efficacy, Journal of Abnormal Psychology, 92, 319-329, 1983.
- ・Roberts, S. L. (et al.) : Fostering Hope in the Elderly Congestive Heart Failure Patient in Critical Care, Geriatric Nursing, 20(4), 195-199, 1999.

(2) 図書の場合

① 単行書 著者名：書名, (シリーズ名, 巻, 版など), 頁, 発行所, 発行年.

【例】

- ・河野友信：ストレスの科学と健康, 23, 朝倉書店, 1988.
- ・Siann, G. : Educational Psychology In a Changing World, 354, Academic Press, 1980.
- ② 分担執筆書 章の著者名：章のタイトル, 書名, 編著者名, (シリーズ名, 巻, 版など), 頁, 発行所, 発行年.

【例】

- ・上地安昭：第5章不応症候群, 学校社会ストレス, 安藤延男編, 講座生活ストレスを考える, 79, 垣内出版, 1985.
- ・Cooper, B. W. : Antimicrobial Chemotherapeutics. In B. M. Soule (et al.), Infections and Nursing Practice, 156-158, Mosby, 1995.
- ③ 翻訳書 原著者名：書名, (シリーズ名, 巻, 版), 発行所, 発行年.
訳者名：訳書名, (シリーズ名, 巻, 版), 頁, 発行所, 発行年.

【例】

- ・Gagne, E. D. : Cognitive Psychology of School Learning, Academic Press, 1985.
岸学訳：学習指導と認知心理学, 72, パーソナルメディア, 1989.
- 〈注〉外国人の現綴りは、Family, First, Middle name の順とする。First, Middle name については、イニシャルのみでもよい。